

ペットも守ろう！防災対策 ～9月20日から26日は動物愛護週間～

災害時にペットを守ることができるのは飼い主だけです。避難が必要か判断することはもちろん、避難生活で周りの人へ迷惑をかけず、安心して過ごすためには、日頃からの心構えと備えが大切です。この機会に考えてみましょう。

あなたの飼い方は大丈夫？ 同行避難※のために、今できること

※災害時に、ペットを連れて安全な場所まで避難すること。避難所でペットと人が同一の空間で居住できることを意味するものではありません。避難後は、各避難所のルールに従ってください。

□適正な頭数を飼いましょう

一緒に連れて避難できる頭数は限られています。よく考えて適正な頭数を飼いましょう。また、大型犬や、病気や高齢で動けないペットを飼っている場合は、移動手段も考えておきましょう。



□猫は室内で飼いましょう

猫が外にいますと、災害が起きても戻ってこず、避難の時に連れていきません。猫を室内で飼うことは、事故や感染症などの日常の危険から猫を守ると同時に、災害への重要な備えです。

□不妊去勢手術をしましょう

不妊去勢手術をしておくこと、避難場所に多くのペットがいても、繁殖のための争いやストレスを軽減することができ、また、マーキングなどの問題行動も防止できます。

□社会化・しつけをしましょう

人や他の動物に友好的であること、むやみに吠えないこと、ケージの中で落ち着いて過ごせることは、災害時に限らず、日常の生活でも重要なことです。

- ・さまざまな人、動物、音、物などに慣らしておきましょう(=社会化)。
例:いつもと違う散歩コースを歩く、旅行やキャンプに行くなど
- ・犬の要求吠えには関心を示さず無視をしましょう。静かにしていたらたくさんほめましょう。
- ・ケージに慣らすために、日頃からケージの扉を開けた状態で部屋に置き、ペットがくつろいだり眠ったりする場所として利用しましょう。

迷子札とマイクロチップ

ペットは、突然の災害に驚いて逃げてしまうことがあります。保護された際に飼い主のもとに戻れるよう、普段から身元を示すものをつけましょう。

□連絡先を書いた迷子札をつけましょう

犬の場合は、鑑札と狂犬病予防注射済票もつけましょう。



迷子札



鑑札



狂犬病予防注射済票

□室内飼いで、首輪は常につけましょう

ペットが、地震等で倒壊した家屋や開いた扉から逃げ出した事例が多数報告されています。災害はいつ起こるか予想できないので、首輪は外さず常につけましょう。

□マイクロチップを装着しましょう

マイクロチップとは、15桁の個体識別番号が記録された電子標識器具で、動物病院にて通常の注射と同じ要領で体内に埋め込みます。首輪が取れてしまったときの確実な身元証明として役立ちますので、装着後は、飼い主情報の登録を忘れずに行いましょう。

詳しくは、市ホームページへ。

(市動物愛護センター ☎096-380-2153)



遅らせないで！子どもの定期予防接種

新型コロナウイルス感染症の拡大で、医療機関へ行くのをためらう方もいるかもしれませんが、子どもの予防接種は、「不要不急」ではありません。子どもの予防接種は、望ましい接種対象年齢のうちに受けましょう。

予防接種の望ましい接種対象年齢など詳しくは、市ホームページへ。



(感染症対策課 ☎096-364-3189)

【なぜ、予防接種を遅らせない方が良いの？】

子どもの予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。予防接種の時期を遅らせると、免疫が付くのが遅れ、重い感染症になる危険性が高まります。

【医療機関の感染防止対策は？】

医療機関では、一般の受診患者と別の時間や場所で接種を行ったり、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症感染防止対策に努めています。



『アーティストスポット熊本』～熊本の「アーティスト」と「表現の場」をつなげる。～

「アーティストスポット熊本」とは、地元で活動するアーティストに発表の場を与えるとともに、発表の場の新規開拓をすることにより市民が文化芸術に触れる機会を創出することで、生活の質の向上を図るほか、ビジネスチャンスの創出につなげる事業です。

アーティストと発表の場(スポット)を登録し、マッチングにつなげます。

〈アーティスト・スポット登録〉、
〈登録アーティスト・スポット情報〉は
こちらから⇒



アーティストスポット熊本PR映像配信中！
YouTube (www.youtube.com) 内

アーティストスポット熊本 検索



(文化政策課 ☎096-328-2039)